

市町村による「プラスチックごみゼロ」宣言の状況

令和2年5月28日時点

団体等名称	宣言概要
堺市	堺市は、SDGs未来都市として、必要のないプラスチックをできるだけ使用しないプラスチックフリーなライフスタイルへの転換を促すことを目的に、使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Freeチャレンジ」を開始しました。同チャレンジにより、市民等の意識の変革、機運の醸成、行動の促進を図るとともに、自らが先導的に使い捨てプラスチック削減に取り組むことで、SDGsの達成に貢献します。
岸和田市	資源保護や海洋プラスチックなどプラスチックごみ問題が年々深刻になっています。これまで岸和田市では市民団体が主体となって河川の清掃活動をするなど、プラスチックごみの削減に努めてきました。今後も市民や事業者への啓発に注力するとともに、3Rの推進やポイ捨ての防止など自ら率先して取り組み、「使い捨て」社会から「循環」社会への転換を進め、プラスチックごみゼロを目指します。
吹田市	本市の環境政策は「もったいない」を基本理念としています。次世代に持続可能な社会を引き継ぐために、高度に進んだ現在の使い捨て型ライフスタイルを見直す社会変革の先頭に立たなければならないとの思いを強くしています。吹田市は、市民、事業者と連携した脱プラスチックを含む独自の先進的な使い捨て撲滅に取り組み「脱使い捨て」を宣言するとともに日本一の環境配慮都市を目指します。
泉大津市	泉大津市は、「みんなの手できれいなまちづくり」を目指して、ごみ拾い活動を広め、自分たちのまちをきれいにしていく意識の醸成に取組み、ごみゼロ大作戦等のイベント実施など、プラスチックごみゼロに向け、自ら不断の取り組みを行います。
貝塚市	貝塚市は、大阪府と大阪府が共同で宣言した「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨に賛同し、市民や企業等と連携により海洋汚染実態の正しい理解を深めるとともに、河川及び海岸の環境美化運動の実施、3Rの推進、紙等のプラスチック代替品活用の促進などの取り組みを行います。
守口市・門真市・守口門真商工会議所	プラスチックによる海洋汚染問題の解決に向けては、私たち一人ひとりが身近な問題として受け止め、プラスチックとうまく付き合っていくことが重要です。このため、守口市、門真市、守口門真商工会議所では、市民、事業者、団体と協働し、3Rの推進や使い捨てプラスチック製品の使用削減、ごみのポイ捨て防止などに取り組むことで、プラスチックごみゼロを目指します。
枚方市	近年、私たちの生活に欠かせないものとなっているプラスチック製品が不用意にポイ捨てされ適正に処理されず、海洋汚染の原因になるなど世界中で大きな問題となっています。海洋プラスチックの問題解決に向けて、本市においてもポイ捨てをしない・させない環境づくりや使い捨てプラスチックの削減に取り組む必要があることから、「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に賛同し、啓発活動やレジ袋削減などの取り組みを推進します。
八尾市	八尾市は、SDGs(持続可能な開発目標)の理念に基づいた循環型社会や「きれいなまち八尾」、プラスチックごみゼロの実現に向けて、市民の皆様のご理解のもと、3R運動をはじめ、河川等におけるクリーンキャンペーン、市街地での美化・清掃活動など、市民、事業者、行政の協働を一層推進し、自ら率先した不断の取組を行います。
泉佐野市	プラスチックごみによる海洋汚染が、地球規模の深刻な問題としてクローズアップされています。泉佐野市ではこれまで市民と協働して海岸や河川を含む市域の環境保全に取り組んできたところです。今後とも、ボランティア活動の支援、ポイ捨ての防止、使い捨てプラスチック削減に向けた啓発など、4Rの更なる推進を目指して不断の取り組みを行ってまいります。
富田林市	富田林市は、市民の誇りでありシンボルである石川を愛し、美しく住みよい環境づくりのため、市民・事業者・行政が協働で石川清掃等に積極的に取り組んでいます。より一層の環境改善のため、SDGsの国際目標の1つである、「14 海の豊かさを守ろう」の実現のため、海洋プラスチック問題についての啓発をするとともに、4Rのさらなる推進、プラスチックごみのポイ捨て防止に向け、自ら不断の取り組みを行います。
寝屋川市	寝屋川市は、市民、事業者、行政が協働して4Rを推進し環境への負荷が少ない循環型社会を目指しています。寝屋川市は、海から離れているものの不用意に捨てられたプラスチックごみが河川などを通じて海に流れ込み、海洋プラスチック汚染の原因となっていることを市民に身近な問題として考えていただける効果的な啓発を行うとともに、使い捨てプラスチックの削減やポイ捨て防止に向け自ら率先して取り組みを行います。
河内長野市	近年、適正に処理されなかったプラスチックが河川などから海に流れ出るにより、海の環境や生態系に悪影響を与え、地球規模の問題として危惧されています。多くの良質な河川を有する河内長野市としても、河川の環境保全活動に努めるとともに、3Rのさらなる推進により、市民の皆さまとともに持続可能な社会に向け自ら率先して取り組みを行ってまいります。
大東市	大東市では、「恩地川クリーンリバープロジェクト」の活動やレジ袋削減の取り組みを行っております。今後も、市民・事業者・行政が連携し、海洋プラスチックごみ問題への正しい理解を深めるとともに、環境啓発事業や3Rにリフーズを加えた4R運動を推進し、「プラスチックごみゼロ」の実現のため、不断の取り組みを行います。
和泉市	和泉市では「美しいまちづくり」の一環として、ポイ捨てされたプラスチックごみなどが水路や河川を通じて海に流れ込まないよう、地域清掃・ボランティア清掃などの活動を支援し、環境美化に取り組んできました。この環境美化意識を更に醸成し、3R運動の更なる推進、全庁をあげてのマイバック持参運動や使い捨てプラスチック代替製品の活用など、プラスチックごみゼロに向け、不断の取り組みを行うことをここに宣言します。

団体等名称	宣言概要
柏原市	プラスチックは、安価で使いやすいことから、近年急激に普及し、現在、私たちの生活は大きく依存したものとなっています。一方、不用意にごみとして捨てられたレジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみが、河川などを通じて海へ流れこみ、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、近年地球規模で問題となっています。柏原市では、これまで町会等による環境美化活動に対して積極的に協力や支援を行い、まちの環境保全に取り組んできたところです。今後は、その取り組みの他、3R(リデュース、リユース、リサイクル)にリフューズを加えた4R運動の更なる推進及びプラスチックごみのポイ捨て防止など、不断の取り組みを行うことをここに宣言します。
羽曳野市	羽曳野市は海から離れているものの不用意に捨てられたプラスチックごみが水路を通じて河川海に流れ込み、海洋プラスチック汚染の原因となっていることを市民に身近な問題として考えていただける効果的な啓発を行うとともに、清掃活動やマイバッグ・マイボトル運動など自ら率先して取り組みを行います。
高石市	高石市は、持続可能な循環型社会の構築を目指し、ごみの発生・排出抑制を重視した4Rの取り組みを推進し、臨海部での清掃活動や、市民・事業所と協働したボランティアによる清掃活動に取り組んでまいりました。「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨に賛同し、海洋プラスチック汚染問題の理解を深め、プラスチックを含めたごみ削減等、同問題に関連した取り組みをこれからも推進していきます。
藤井寺市	近年、使い捨てられたプラスチックごみが河川などを通じて海に流れ込み、生態系に深刻なダメージを与えることが、地球規模の問題として危惧されています。藤井寺市においてもこれまで市民協働で取り組んでまいりました大和川や石川などの河川周辺の清掃活動などを継続して行うとともに、プラスチックごみがもたらす環境への影響についての理解を深めるための周知啓発活動に、自ら率先して取り組んでまいります。
東大阪市	東大阪市は、世界中が注目するラグビーワールドカップ2019TMの試合会場となるため、プラスチックの資源循環を進め、ごみのポイ捨て防止に率先して取り組み、SDGsの達成に貢献していく必要があります。「環境にやさしい ごみを出さないまち東大阪」のスローガンのもと、使い捨てプラスチックの使用削減やポイ捨て防止等の取り組みをすすめる「プラスチックごみゼロにトライ!」することを宣言します。
四條畷市	私たちの生活において、不用意に捨てられたプラスチックごみが「海洋プラスチック問題」を引き起こし、地球規模での大きな課題となっています。四條畷市では、国の「プラスチック・スマート」の考え方を踏まえ、それぞれの立場でできる取組を推進すると共に、大阪府と大阪府が行った「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨に賛同し、適正に処理されないプラスチックごみがゼロとなるよう、取組を進めていきます。
交野市	交野市には天野川をはじめ多くの河川が流れており、その水は淀川を通じ、やがて海へ流れていることから、海洋プラスチックの問題は、無関係な問題では無いという認識のもと、プラスチックごみ等ポイ捨て防止や使い捨てプラスチックの削減に向け、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の運動を推進し、「プラスチックごみゼロ」の実現のため、不断の取り組みを行います。
大阪狭山市	大阪狭山市は、ごみ減量化と資源リサイクルの推進をともに実践する循環型社会づくりをめざしています。海洋プラスチックごみ問題の要因の1つがごみのポイ捨てであることから、市内美化にかかわる市民との協働による清掃活動やポイ捨て防止等の啓発推進など、一層のプラスチックごみ削減に向けて市民の環境意識の高揚を図るとともに、地域環境から地球環境につながる身近な問題として、市民の皆さまとともに取り組んでいきます。
阪南市	阪南市は、大阪湾の自然豊かな恵みを享受し、市民、事業者、行政が協働して海岸・河川清掃等に取り組んできましたが、次世代の子ども達に、この環境を継承するには、より一層のプラスチックごみ削減に取り組む必要があります。本市は、SDGs先進都市を目指す大阪の一員として、「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に賛同し、3Rの推進、使い捨てプラスチックの削減やポイ捨ての防止に向け自ら率先して取り組むことを宣言します。
島本町	私たちが日常生活を営むうえで、プラスチックはなくてはならない存在である反面、適正に処理されなかったプラスチックごみが海洋に流れ込み、地球規模で問題となっています。島本町は、この問題に対して、4Rのさらなる推進、ポイ捨ての未然防止やマイバッグ持参によるレジ袋の削減が重要と考えており、今後も適正に処理されないプラスチックがゼロとなるよう取り組みます。
熊取町役場	大阪でいちばんきれいなまち「くまどり」を目指し美化活動に取り組んでいる本町では、従前から町内スーパー各店舗や地元商工会に対し、レジ袋有料化等に向けて協力要請をしており、おおさかプラスチックごみゼロ宣言の趣旨に賛同し、より一層のプラスチックごみ削減に向けて、住民や事業者の模範となるよう、全庁あげてのマイバッグ持参運動や3Rにリフューズを加えた4R運動の更なる推進など不断の取り組みを行います。
田尻町	田尻町は、大阪府・大阪市による共同宣言「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨に賛同し、海洋プラスチック汚染の実態の正しい理解を深めるとともに、使い捨てプラスチックの削減や3Rのさらなる推進、プラスチックごみのポイ捨ての防止、紙等のプラスチック代替品の活用など、プラスチックごみゼロに向け、自ら不断の取り組みを行います。
岬町	岬町は海と山の自然に恵まれており、この雄大な自然を未来に引き継ぐため、地域住民をはじめ多くのボランティアの方々が美化活動を行ってきましたが、より一層のプラスチック削減に取り組む必要があります。プラスチックごみ問題の啓発活動を通じた機運の醸成をはじめ、3Rの深化を図り、リフューズを加えた4Rを推進するとともに、プラスチックごみゼロに向け、住民・事業者等と連携し、不断の取り組みを行います。
千早赤阪村	千早赤阪村は海から遠く離れているものの、水越川や千早川を有する事から、海洋プラスチック問題を身近な問題と捉え、村民や事業者への啓発活動を行なうとともに、3R(リデュース・リユース・リサイクル)のさらなる推進やマイバッグの普及促進を行なうなど、不断の取り組みを行ないます